

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また医療の進歩に寄与するべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、この度下記検査項目の受託を開始することになりました。

取り急ぎご案内させていただきますので、ご利用のほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

新 規 受 託 項 目

●STDマイコプラズマ核酸同定

受 託 開 始 日

2023年3月1日（水）より新規受託開始

※詳細につきましては、裏面内容をご参照願います。



保健科学グループ

保健科学研究所	〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町106	TEL. 045-333-1661
保健科学東日本	〒365-8585 埼玉県鴻巣市天神3-673	TEL. 048-543-4000
保健科学西日本	〒612-8486 京都府京都市伏見区羽束師古川町328	TEL. 075-933-6060

受 託 内 容

項目コード	検査項目	検査必要量	容器保存方法	検査方法	基準値・単位	所要日数	実施料判断料	備考
7411	STD マイコプラズマ核酸同定	初尿 2.0mL または ぬぐい液	ケ 冷蔵	リアルタイム PCR 法	M.genitalium 検出せず M.hominis 検出せず U.parvum 検出せず U.urealyticum 検出せず	4～5日		*1

▼ご依頼時の注意点

- ・現状、項目コード未設定の受領となりますので、依頼書の欄外コメントにて出検ください。
- ・近日中に、項目コードの設定予定となります。
- ・提出容器は、検査材料の尿もしくはぬぐい液のそれぞれ外注先の専用容器となります。



▼臨床的意義

非クラミジア性非淋菌性の性感染症の原因とされるマイコプラズマ属（ジェニタリウム、ホミニス）およびウレアプラズマ属（ウレアリチカム、パルバム）を検出する検査である。男性尿道炎の37%は非クラミジア性非淋菌性であり、マイコプラズマ・ジェニタリウム（*Mycoplasma genitalium*）が最も高頻度に検出され、次いでウレアプラズマ・ウレアリチカム（*Ureaplasma urealyticum*）が検出されると報告されている。M. genitalium は、男性の尿道に対する病原性が明らかにされており、薬剤耐性化が世界的に問題になっている。U. urealyticum は、淋菌性尿道炎およびクラミジア性尿道炎患者での重複感染が多く、男性不妊症との関連も研究が進められている。マイコプラズマ・ホミニス（*Mycoplasma hominis*）、ウレアプラズマ・パルバム（*Ureaplasma parvum*）は、尿道炎症例で検出されることがあるが、尿道炎の原因であることは明らかにされていない。女性では、M. genitalium 感染が子宮頸管炎、骨盤内炎症性疾患、早産、自然流産との関連が高いことが示されている。U. urealyticum、U. parvum、M. hominis は細菌性膣炎や骨盤内感染症との関連や不妊、早産、流産との関連を示唆する報告がある。本検査は、リアルタイム PCR 法により泌尿器系材料からマイコプラズマ属およびウレアプラズマ属の菌の検出が可能であり、性感染症の原因究明・治療方法の研究に有用と考えられる。